美濃いび茶、出来よし

揖斐川町で一番茶共販会

一番茶を吟味する業者ら＝揖斐郡揖斐川町極楽寺、ＪＡ全農岐阜美濃茶流通センター

県内有数のブランド茶「美濃いび茶」の本年度初の一番茶共販会が25日、揖斐郡揖斐川町極楽寺のＪＡ全農岐阜美濃茶流通センターで行われた。平均落札額は1キロ2044円で、生産量の増加に伴い昨年より1割ほど安かった。一方、良好な天候と適度な雨量の影響で、甘みや香りなどの品質は良好だという。

美濃いび茶は、揖斐郡の揖斐川町と池田町の約120㌶で栽培されているブランド茶。ＪＡ全農の担当者によると、今季は生育が早く、例年より1週間ほど前倒して共販会を開催した。

郡内の茶工場から例年の3倍ほどとなる計約3千キロの出品があった。県内の小売、卸売業者12業者の担当者が、茶葉を手に取って香りを嗅いだり、湯を入れて口に含んだりして、色や香り、見た目を確かめた。

揖斐川町桂の専門店「いび茶の里」は、過去最高となる1キロ10万円のご祝儀値で落札。担当者は「新型コロナウイルス禍で苦労した農家へのエールを込めた」と語った。（柴田洋希）

無断複製・転載を禁じます